

東部ブロック
地域の未来についての懇談会
(通算第131回)

開催日	平成30年5月29日(火)
開催時間	午後7時～午後9時
会場	J A大柳生支店2階会議室
参加者	33名



意見・質問等	市側の発言
<p>1. 高齢化、少子化、人口減少、地域活力の低下、伝統行事の衰退、高齢者の買い物や通院等、年々深刻度を増している。耕作放棄地の増加、鳥獣被害も深刻で、農地の荒廃に伴う景観を含めた環境問題もある。空き家も増加しており、限界集落に近づきつつある。今後どう東部の振興を図っていくか、市の考え方について</p> <p>2. 東部においては1軒1軒が離れていて、水道の配管についてもわかりにくい実情にあるが、担当者の高齢化による後継ぎが課題になっていることについて</p> <p>3. 東部地域に住むかどうかについては、女の人にここに住む気があるかどうかを決め手になると思う。仕事や起業がしやすい状況があれば、女の人々の心をつかむことができ、人口減少も食い止めることができるのではないかということについて</p>	<p>1. 高齢化に伴う生活面での不安や不都合、少子化、農地の荒廃、空き家の問題等、どれも日本中の地方都市が抱える共通の課題である。全国のいろいろな地域で知恵を絞った動きをされている。行政も何とか地域の衰退を食い止めていきたい。最後は皆さんの思いと知恵を出していただいて、そこに行政も側面支援していく形になる。東部地域では空き家バンクを行っているが、出てくる数が余りなく、住めないようなものもあり、早い段階で流通でき、マッチングを柔軟にしていけたらと思う。</p> <p>2. 行政職員も団塊の世代の大量退職により、今までよりも早いペースで昇任する形になっているが、人事異動の頻度を抑えて、1つの仕事をマスターできるようにしっかり対応していこうとしている。地域の方々と行政が情報・アイデア・人のつながりにより、一緒にこの地域を運営していくようなイメージでもらうと、職員の経験が少なくても補っていただけると思う。</p> <p>3. 女性の趣味や特技をもとにビジネスができると、東部地域で暮らすことの具体的なイメージがわきやすい。例えば市で東部地域の女性の起業支援講座を行ったり、チャレンジショップのような形で販売体験していただくことも必要ではないかと考える。また空いている施設にパソコンやインターネット環境を用意して働く機会を設ける等、東部地域で住みたいと思っただけの環境をつくっていききたいと思うので、現実的な取組を考案していきたい。</p>

4. 東部地域で一番問題なのは、足の問題で、病院は家族が車で送迎している。赤字団体の笠置町は1時間に1本ぐらいコミュニティバスを走らせているのに、こちらではバスは1日数本で、役に立たない。運転免許を返納したりすると、しんどくなることについて

5. 地域自治協議会の考え方については全く賛成であるが、四角四面にしばられるのではなく、考え方をうまく活用して、知恵を出しながら回していきたいので、相談に乗っていただきたいことについて

6. 地域の担い手も不足している。自治会加入率は高いが、毎年1軒1軒なくなっていくのが現実なので、部長が言われた雲南市の例も含めて、これが村の切り口だというものを教えていただきたい。市街地の自治会とはまた別に、東部地域版をお願いしたい。(要望のみ)

4. おっしゃった趣旨はよく理解した。コミュニティバスの話も、スクールバスとの共用ができないかも含め、規模・エリア・コスト・料金等、地域交通会議で議論している。今年度その議論をする年になっているので、来年度からどうしていくか検討する場を持ってもらう。

5. まさに自治は多様な形があり、今までの経緯もあると思うので、そのあたりも踏まえながら、皆さんにじっくりくる仕組みを我々も探していきたい。ぜひ相談させていただけたらと思う。